

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-222377

(43)Date of publication of application : 09.08.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-020214

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 29.01.2001

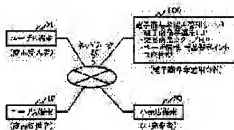
(72)Inventor : TOYODA YOSHIYUKI

(54) OPERATION SYSTEM AND OPERATION PROGRAM FOR ELECTRONIC GIFT COUPON

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that a receiving person is required to visit a specific shop for exchanging a gift coupon with merchandise and that there are restrictions of the kinds of exchangeable merchandise, a using expiration, etc., in the case of providing merchandise by the conventional gift coupon.

SOLUTION: The operation system of electronic gift coupon is obtained by the communication connection of the user A terminal 10 of a merchandise provider, the user B terminal 20 of the receiving person, an electronic gift coupon operation management server 100 for processing purchasing, providing an turning into merchandise of gift coupon slip points by a user and the terminal 30 of a shop handling exchanging merchandise. When an operation service HP receives the purchases instruction of the gift coupon points from the terminal 10 and receives a point transfer instruction to the user B, the server 100 stores purchase points in the gift coupon point account of the user A, shifts the part of transferring points to the account of the user, and informs the terminal 20 that the points are provided and of the guide of a merchandise exchange HP. When this HP is accessed, the server 100 presents an exchanging merchandise catalog, obtains an exchanging instruction, orders the exchanging merchandise to the terminal 30 and informs the terminal 30 of payment.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-222377

(P2002-222377A)

(43) 公開日 平成14年8月9日(2002.8.9)

(51) Int.Cl.	識別記号	F i	キーワード(参考)
G 0 6 F 17/60	4 1 0 Z E C 2 3 4 3 2 4	G 0 6 F 17/60	4 1 0 A Z E C 2 3 4 Z 3 2 4

審査請求 有 請求項の数 9 O L (全 11 頁)

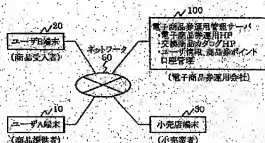
(21) 出願番号	特願2001-20214(P2001-20214)	(71) 出願人	00004287 日本電気株式会社 東京都港区芝五丁目7番1号
(22) 出願日	平成13年1月29日(2001.1.29)	(72) 発明者	豊田 恵之 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内
		(74) 代理人	100082935 弁護士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 電子商品券の運用システム及び運用プログラム

(57) 【要約】

【課題】従来の商品券による商品の提供では、受入者が特定の店舗に出向き商品と交換する必要があり、又交換できる商品種類や使用期限等の制約があった。

【解決手段】商品提供者のユーザA端末10、受入者のユーザB端末20、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用管理サーバ100と、交換商品を扱う小売店の端末30とが通信接続された電子商品券の運用システムであり、電子商品券運用管理サーバ100は、運用サービスHPがユーザA端末10から商品券ポイントの購入指示、ユーザBへのポイント振込指示を受けるとユーザAの商品券ポイント口座に購入ポイントを書き入れ、振込ポイント分をユーザB口座へ移し、ユーザB端末20にポイントが提供された旨と商品交換HPの案内を通知し、このHPがアクセスされると交換商品がタログを提示し交換指示を取扱い小売店端末30に対し交換商品の発注、送金通知を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 商品提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、交換商品を扱う小売店の端末とが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報取得する電子商品券運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカタログ表示情報を送信しユーザ端末に表示させユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換情報取得する商品への交換サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする電子商品券の運用システム。

【請求項2】 商品提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、交換商品を扱う小売店の端末と、電子商品券運用業者が金融口座を持つ金融機関の端末とが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、前記データベースと、前記電子商品券運用サービス手段と、前記商品への交換サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信し、前記換金サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から換金額相当のポイントを引き出し、金融機関端末に

ユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする請求項1記載の電子商品券の運用システム。

【請求項3】 商品提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、交換商品を扱う小売店の端末と、交換商品のカタログデータを保持する小売店ホームページサーバとが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカタログ情報を保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報を応答情報として取得する第2の電子商品券運用サービス手段と、第2の電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商品交換情報に応じ該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを有することを特徴とする電子商品券の運用システム。

【請求項4】 商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報取得する電子商品券運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカタログ表示情報を送信しユーザ端末に表示させユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換情報取得する商品への交換サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座

から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする電子商品券運用管理サーバ。

【請求項5】 前記データベースと、前記電子商品券運用サービス手段と、前記商品への交換サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信し、前記換金サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から換金額相当のポイントを引き出し、金融機関端末にユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする請求項4記載の電子商品券運用管理サーバ。

【請求項6】 商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカテゴリ情報を保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報を応答情報として取得する第2の電子商品券運用サービス手段と、第2の電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商品交換情報に応じ該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを有することを特徴とする電子商品券運用管理サーバ。

【請求項7】 サーバに搭載されるプログラムであって、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報取得する電子商品券

運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカテゴリ表示情報を送信しユーザ端末に表示させユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換指示を取得する商品への交換サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする電子商品券運用プログラム。

【請求項8】 サーバに搭載されるプログラムであって、前記電子商品券運用サービス手段と、前記商品への交換サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い対応するユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信し、前記換金サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から換金額相当のポイントを引き出し、金融機関端末にユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする請求項7記載の電子商品券運用プログラム。

【請求項9】 サーバに搭載されるプログラムであって、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカテゴリデータを保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報を応答情報として取得する第2の電子商品券運用サービス手段と、前記第2の電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報と

を送信し、商品交換情報に応じ該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを有することを特徴とする電子商品券運用プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は商品券の購入、提供、商品化を運用するシステムに関し、特にネットワーク上で不特定多数の人、企業、団体が商品券を購入し提供し、提供された側もネットワーク上で商品化できる電子商品券の運用システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、商品提供者Aから商品受入者Bに物品が提供される場合、商品提供側が指定した商品の現物を指定した時期に送品するといった形式が一般的である。例えば、秋衣や贈答のためのデパート等に出向き、商品を決め購入後、贈答先の氏名や住所を指定して配達を依頼するといった具合である。

【0003】 しかし現物商品の贈答では贈答先が本当にその商品希望しているのが疑問であり、又商品を選定する手間もかかる。更に乾食品を送る場合には賞味期限や相手の嗜好等も気にしなければいけない。

【0004】 現物商品の提供や贈答ではこのような問題があるため商品券で提供することもしばしば行われる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 従来の商品券は特定のデパートの商品券や図書券といった購入引き換え場所や交換製品が特定されているものが殆どであった。従って、従来の商品券による商品の提供には次の様な問題がある。

【0006】 即ち、受入者Bが商品券を商品と交換の際、特定の店舗等に出向いて交換する必要がある。提供者Aもデパートや書店に出向き商品券を購入する必要があると言う第1の問題がある。

【0007】 又、商品券は交換できる商品の種類が限定され、又使用期限等制約が多いと言う第2の問題がある。図書券は書店以外では使えないし、図書券もデパートの商品券も長期間限等での使用は出来ない。

【0008】 更に、従来の商品券ではどこでも使用可能で、何にでも交換可能と言った極限化、汎用化されているものがないと言う第3の問題がある。

【0009】 本発明は、以上の問題点を解決する電子商品券（ポイント）による商品交換形態及び換金形態を提供する。

【0010】

【課題を解決するための手段】 本発明の第1の電子商品券の運用システムは、商品提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、

と、交換商品を扱う小売店の端末とが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントに登録するユーザの口座及びユーザ情報を含むデータベースと、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報を取得する電子商品券運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカタログ表示情報を送信しユーザ端末に表示させるユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換情報を取得する商品への交換サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントを対応口座に登録し、振込ポイントを対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする。

【0011】 本発明の第2の電子商品券の運用システムは、前記第1の電子商品券の運用システムであり、商品提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、交換商品を扱う小売店の端末と、電子商品券運用業者が金融口座を持つ金融機関の端末とが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、前記データベースと、前記電子商品券運用サービス手段と、前記商品への交換サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報を取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントを対応口座に登録し、振込ポイントを対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記換金サービス手段の取得情報に従い該当ユーザの口座から換金額相当のポイントを引き出し、金融機関端末にユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする。

【0012】 本発明の第3の電子商品券の運用システム

は、商品券提供側、受入側の各ユーザ端末と、ユーザの商品券ポイントの購入、提供、商品化を処理する電子商品券運用業者の電子商品券運用管理サーバと、交換商品を扱う小売店の端末と、交換商品のカタログデータを保持する小売店ホームページサーバとが通信接続された電子商品券の運用システムであって、前記電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカタログ情報を保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報を応答情報として取得する第2の電子商品券運用サービス手段と、第2の電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商品交換情報に応じ該ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを有することを特徴とする。

【0013】本発明の第1の電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報取得する電子商品券運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカタログ表示情報を送信しユーザ端末に表示させユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換情報を取得する商品への交換サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商品交換情報に応じ該ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする。

【0014】本発明の第2の電子商品券運用管理サーバは、前記第1の電子商品券運用管理サーバに於いて、前記データベースと、前記電子商品券運用サービス手段と、前記商品への交換サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報を取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手段の取得情報に従い該ユーザの口座から換金相当のポイントを出し、金融機関端末にユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手段とを備えることを特徴とする。

【0015】本発明の第3の電子商品券運用管理サーバは、商品券ポイントを蓄積するユーザ単位の口座及びユーザ情報を含むデータベースと、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカタログ情報を保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報を応答情報として取得する第2の電子商品券運用サービス手段と、第2の電子商品券運用サービス手段の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商品交換情報に応じ該ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手段とを有することを特徴とする。

【0016】本発明の第1の電子商品券運用プログラムは、サーバに搭載されるプログラムであって、ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、それぞれ登録するユーザ情報及び口座情報、ユーザ識別及び購入ポイント数、ユーザ識別及びユーザメッセージ及び振込ポイント数及び振込先情報取得する電子商品券運用サービス手段と、ユーザ端末にアクセスされ交換商品のカタログ

表示情報を送信しユーザ端末に表示させユーザの交換商品選択を促し、商品券ポイントの商品への交換指示を取得する商品への交換サービス手順と、前記電子商品券運用サービス手順の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントを対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手順の取得情報に従い該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手順とを備えることを特徴とする。

【0017】本発明の第2の電子商品券運用プログラムは、前記第1の電子商品券運用プログラムであり、サーバに搭載されるプログラムであって、前記電子商品券運用サービス手順と、前記商品への交換サービス手順と、ユーザ端末にアクセスされ保有ポイントの換金申請を受け、換金情報を取得する換金サービス手段と、前記電子商品券運用サービス手順の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントに対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、前記商品への交換サービス手順の取得情報に従い対応するユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信し、前記換金サービス手順の取得情報に従い該当ユーザの口座から換金額相当のポイントを引き出し、金融機関端末にユーザの金融機関口座への換金額の振込を指示する電子商品券運用管理手順とを備えることを特徴とする。

【0018】本発明の第3の電子商品券運用プログラムは、サーバに搭載されるプログラムであって、前記ユーザ端末にアクセスされ指定に応じ、ユーザ登録及び口座開設処理、商品券ポイント購入処理、商品券ポイント振込処理、商品への交換処理の処理用画面をユーザ端末に提示し、これらの応答情報と取得し、商品への交換処理が指定された際には、交換商品のカタログデータを保持する小売店のホームページアドレスを送信しユーザ端末にそのホームページにアクセスさせ、ユーザの交換商品選択を促し、商品交換情報と応答情報とで取得する第2の電子商品券運用サービス手順と、前記第2の電子商品券運用サービス手順の取得情報に従いユーザ情報や口座情報をデータベースに登録し、購入ポイントを対応口座に蓄積し、振込ポイントに対応口座間で移動すると共にポイント購入ユーザの端末へ購入額を請求し、ポイント振込先のユーザ端末へ振込者情報、メッセージ、ポイント数、商品交換サービスへの案内情報とを送信し、商

品交換情報に応じ該当ユーザの口座から交換商品額相当のポイントを引き出し、小売店端末に交換商品を発注後送金処理データを送信する電子商品券運用管理手順とを有することを特徴とする。

【0019】

【発明の実施の形態】次に、本発明の第1実施形態について図面を参照して詳細に説明する。図1は本実施形態の電子商品券運用システムの構成を示したブロックである。図1を参照し、電子商品券運用システムはユーザA（商品提供者）端末10と、ユーザB（商品受入者）端末20と、小売店端末30と、電子商品券運用管理サーバ100とこれらを相互に接続するネットワーク50から構成されている。尚、各端末及びサーバとの通信はネットワーク50を通じて行われる。

【0020】ユーザA端末10及びユーザB端末20はパーソナルコンピュータ等の情報処理装置で、ネットワーク上のHP（ホームページ）にアクセスし、表示データや予約語を受信し表示や応答データ返信を実行する閲覧処理機能も持つ。

【0021】ユーザA端末10及びユーザB端末20は、電子商品券運用会社の電子商品券運用管理サーバ100がネットワーク50上に提供している運用HPの「ネットワーク商品券」メニューにアクセスし、銀行の預金口座相当の「電子商品券ポイント口座」の開設を申請し登録する。

【0022】端末の画面上で、商品ポイント換算レートの情報を確認（閲覧）後、購入希望ポイントのポイントをポイント購入を実行する。ここで商品ポイント換算レートとは、例えば、「買1ポイント＝100円、売1ポイント＝80円（売と買のレート差には手数料も含まれています）」等の情報であり、ユーザは1ポイント＝100円で購入し、ポイント当たり80円の商品と交換出来、差額は電子商品券運用会社の扱い手数料とする。

【0023】購入手続き完了後、電子商品券運用管理サーバ100上に開設されている自己の商品券ポイント口座にポイントが加算される。（ポイント購入後、電子商品券運用会社より購入ポイント相当の代金請求を受け、支払い処理をする）商品を提供した相手（商品受入者）がいる場合、例えばユーザAがユーザBにプレゼントを希望する場合、ユーザA端末10により電子商品券運用管理サーバ100がネットワーク上に提供する運用HPの「商品ポイントの振込み」メニューにアクセスする。

【0024】振込元情報、振込先情報、振込金額（電子商品ポイント数）を登録し申請する。振込先であるユーザB端末20は電子商品券運用管理サーバ100より振込元情報、振込まれたポイントが電子メール等を通じて通知され、同時に電子商品券運用管理サーバ100のユーザBの「電子商品券ポイント口座」のポイントが減算され、ユーザBの「電子商品券ポイント口座」にポイ

ントが加算される。

【0025】次に「電子商品券ポイント口座」上に貯められたポイントの商品への交換であるが、例えばユーザB端末20は、小売業者と電子商品券運用会社が業務提携し、電子商品券運用管理サーバ100がネットワーク上に提供している「交換商品カタログ」HPにアクセスし、ユーザは希望する交換商品を選択しポイントの商品への交換を申請する。

【0026】商品交換の申請を受け電子商品券運用管理サーバ100上にてユーザBのポイント口座からポイントの引き出しが完了されると同時に小売店端末30（小売店の受注端末）へ発注指示を行う。

【0027】小売店端末30は受注内容の確認後、請求書を発行し電子商品券運用管理サーバ100に転送する。小売店端末30よりの請求情報に基づき電子商品券運用管理サーバ100は送金処理をし小売店端末30に対し送金処理したことを通知する。送金通知後、直ちに小売店端末30（小売業者）より小売店の配送センター等へ商品の配送指示が行われ、ユーザB（商品受入者）への配送が行われる。

【0028】図2は、電子商品券運用管理サーバ100の全体構成を示したブロック図である。電子商品券運用サービス手段110は、電子商品券運用HP情報111を備える。ネットワーク50を通じてURL（HPアドレス）を伴うアクセス要求を受けると、先ずメニュー情報を相手端末に送信し、相手端末よりメニュー指定情報を受信し、ユーザ登録処理情報、商品券ポイント口座開設処理情報、商品券ポイント購入処理情報、商品券ポイント振込処理情報の内、指定に対応する情報を選択しページ等の単位で相手端末に適宜送信していく。そして各処理にて受信した応答情報は、指示を付随して電子商品券運用管理手段130に転送する。

【0029】商品への交換サービス手段120は、交換商品カタログHP情報121を備える。交換商品カタログHP情報121はサブメニューと各種商品カタログデータと交換処理情報（商品交換申請の入力画面等）を含む。

【0030】ネットワーク50を通じてURL（HPアドレス）を伴うアクセス要求を受けると、先ずサブメニュー情報を相手端末に送信し、相手端末よりサブメニュー指定情報を受信し、指定に応じた商品カタログデータ、交換処理情報の何れかを送信する。

【0031】商品交換処理では、応答データとしてユーザID、商品券ポイント口座番号、希望商品の商品番号を受信し、電子商品券運用管理手段130に商品交換データとして転送する。

【0032】データベース131はユーザ情報（ユーザID、パスワード、メールアドレスの他氏名、年齢等のユーザ属性情報とユーザ単位で保持）と各ユーザの商品券ポイント口座から構成されている。

【0033】電子商品券運用管理手段130は電子商品券運用サービス手段110や商品への交換サービス手段120がユーザA端末10、ユーザB端末20とやり取りし確定させたユーザ登録情報、口座開設情報、ポイント購入情報、ポイント振込情報を指示と共に受けデータベース131のユーザ情報や、口座データを更新する。

【0034】又、ポイント購入時のユーザへの代金請求、入金確認や、ポイントが振り込まれたユーザへの通知の電子メール送信も行う。

【0035】次に、本実施形態の動作について図3及び図2を参照して説明する。図3を参照すると先ず電子商品券を利用するために、商品提供者及び商品受入者が共に電子商品券運用管理サーバ100の電子商品券運用サービス手段110にアクセスし、ユーザ情報登録後、電子商品券ポイント口座の開設を申請する。商品提供者は更に電子商品券のポイントを購入する（ステップA1）。

【0036】ユーザが自端末に表示された入力画面のそれぞれに対し応答情報や指示を入力すると、電子商品券運用サービス手段110はネットワーク50を通じて応答情報（ユーザ情報、口座情報、購入ポイント数等の登録内容）を取得し、電子商品券運用管理手段130に転送し、電子商品券運用管理手段130がデータベース131に登録する（ステップA2）。

【0037】電子商品券運用管理サーバ100にポイントの授受を行わせる際、商品提供者はネットワーク50上の電子商品券運用ホームページの商品券（ポイント）振込みメニューを選択し、振込元情報、振込先情報、振込ポイント数を、申請し、振込先（提供先）へのメッセージ（提供する理由や主旨を伝えるメッセージ）も登録する（ステップA3）。

【0038】電子商品券運用サービス手段110はこれらのデータを電子商品券運用管理手段130に転送しデータベース131にてユーザAの口座のポイントを振り込み分だけユーザBの口座に移す（ステップA4）。

【0039】電子商品券運用管理手段130よりポイント振込み先（ユーザB端末20の商品受入者）に対して電子メール等により振込元情報、振込まれたポイント数、使用可能ポイント数（累積ポイント数）、商品交換の際アクセスが必要となる商品カタログのホームページのアドレス等の情報を通知する。振込元からのメッセージも通知に添付される（ステップA5）。

【0040】商品受入者はユーザB端末20より交換商品カタログHP（電子商品券運用会社と小売業者が電子商品券運用管理サーバ100に接続）にアクセスし、所有する累積ポイントの範囲内で希望商品との交換を申請する（ステップA6）。

【0041】商品への交換サービス手段120はネットワーク50を通じてユーザBより商品交換申請の内容を受領し、電子商品券運用管理手段130に転送する（ステ

ップA7)。電子商品券運用管理手段130は使用ポイント見合いでポイントを引き出し、ポイント口座が更新された後、小売店の受注端末(小売店端末30)に対し発注指示を行う(ステップA8)。

【0042】小売店端末30より商品金額の請求が電子商品券運用管理サーバ100に対して行われ、電子商品券運用管理手段130は送金指示を行い、送金を完了させ小売店端末30に通知する(ステップA9)。送金完了データを受信した小売店端末30は商品の配送指示を行い、ユーザへの配送を完了させる(ステップA10)。次に図4及び図5を参照し、本実施形態の第2の実施例について説明する。図4は本実施例のシステム構成図であるが、電子商品券運用管理サーバ100Aは、交換商品のカタログHPは持たず、代わりに第2の電子商品券運用サービス手段110Aが小売業者がウェブサーバ等持っている小売店の商品カタログHP35へのリンクデータ(商品カタログHP35のHPアドレス)を持つ。

【0043】図5を参照し、第2の電子商品券運用サービス手段110Aは、前記処理用情報その他、このリンクデータと交換処理用情報とサブメニューも持っている。

【0044】ポイントを保有毒なユーザは商品への交換のため運用HPにアクセスし、メニューにて交換商品カタログHP情報を選択すると複数の小売店HP名が表示される。ユーザがHP名を指定すると開覧処理手段が、自動的にそのHPにアクセスする。ユーザにはポイント数と相当金額が通知されているのでその範囲で商品を選定し、運用HPに戻り、HP名(乃至小売店名)、商品番号、金額を入力し商品交換を申請する。以降は前記の実施例と同様に処理される。

【0045】次に、本発明の第2実施形態について図面を参照して詳細に説明する。本発明の第2実施形態は、電子ポイントを獲得したユーザBが自己の端末20を利用してネットワーク50を介して電子商品券運用管理サーバ100Bにアクセスしてポイントを商品の他、直接現金にも換金できるといふ点で前記第1実施形態と異なる。

【0046】図6は本実施形態の電子商品券の運用システムのシステム構成図である。電子商品券運用管理サーバ100Bは、ポイント換金HPも持ち、電子商品券運用会社が口座をもつ金融機関の金融機関端末40もネットワーク50に接続されている。

【0047】図7は電子商品券運用管理サーバ100Bの全体構成を示したブロック図であり、換金サービス手段140も備わっている。

【0048】電子商品券を獲得したユーザBはユーザB端末20から電子商品券運用管理サーバ100Bがネットワーク50上に開設しているポイント換金HPへアクセスし、自持ちポイントの両替を申請する。

【0049】電子商品券運用管理サーバ100Bはこれを受領後ネットワーク50を経由して、金融機関端末40に対してユーザの希望ポイント数分の換金額の送金指示がなされ(ユーザの銀行口座への振込み指示)、電子商品券(ポイント)の現金化を行う。

【0050】次に本実施形態の動作について説明する。図8を参照し、先ず電子商品券を利用するために、商品提供者及び商品受入者ともに電子商品券運用管理サーバ100Bがネットワーク上に開設している電子商品券運用HPにアクセスし、「電子商品券ポイント口座」の開設を申請する。商品提供者は電子商品券のポイントを購入する(ステップA1)。

【0051】ネットワーク50を通じてユーザの口座ポイント数等の登録内容を電子商品券運用管理サーバ100Bに転送し、電子商品券運用管理サーバ100Bにてデータベース131に登録する(ステップA2)。商品提供者はネットワーク50上の電子商品券運用HPの商品券(ポイント)振り込みメニューを選択し、振込元情報、振込先情報、振込ポイント数を申請し、メッセージも登録する(ステップA3)。電子商品券運用管理サーバ100Bは対応したポイント情報の更新をする(ステップA4)。ここまでは基本的に第1実施形態と同じである。

【0052】電子商品券運用管理サーバ100Bよりポイント振込み先(ユーザB端末20の受入番)に対して電子メール等により振込元情報、振込まれたポイント数、使用可能ポイント数、ポイント換金HPアドレス、振込元からのメッセージ等の情報を通知する(ステップA5)。

【0053】商品受入者はユーザB端末20より、電子商品券運用管理サーバ100Bがネットワーク上に提供しているポイント換金HPにアクセスし、ポイント口座に所有する累積ポイントの範囲内で可能な換金金額を申請する(ステップA6)。

【0054】ネットワーク50を介して取り引き情報(換金情報)が換金サービス手段140に転送される(ステップA7)。電子商品券運用管理手段130Bで使用ポイント見合いでポイントの引き出しが完了、ポイント口座データが更新された後、金融機関端末40に対し換金額の送金指示(ユーザBの銀行口座への支払い指示)が行われる(ステップA8)。

【0055】ユーザBの金融機関口座に現金が振り込まれ、商品券ポイントの換金(現金化)が終了する(ステップA9)。

【0056】尚、商品への交換に適用される換算レート(例えば1ポイント100円、1ポイント180円)とは別に換金レート(例えば換金1ポイント70円)を設定してもよい。

【0057】上記第1の実施形態、第2の実施形態の商品提供者(ユーザA)は個人である必要はなく、企業や

サービス会社であってもよい。又販賣等の景品の代わりに本発明の電子商品券を提供することもできる。

【0058】

【発明の効果】以上説明した様に、本発明の電子商品券の運用システム及びプログラムは、端末やサーバを含むネットワーク上で、商品券をポイントとして扱い、複数の小売店と連携することで、商品券取得ユーザは好きな時に好きな商品、場合によっては現金に交換することが可能となる（商品券としての付加価値が大きい）と言う第1の効果も有する。

【0059】又、ユーザが商品交換の際、わざわざ店舗に出向く必要がなく交換申請を端末上で行うだけで良いと言う第2の効果も有する。

【0060】更に、ユーザは累積ポイントでの使用が可能となり、購入可能製品の幅が広がると言う第3の効果も有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の電子商品券運用システムの第1実施形態の第1の実施例のシステム構成図。

【図2】図1の電子商品券運用管理サーバ100の構成を示したブロック図。

【図3】本発明の電子商品券運用システムの第1実施形態の動作を示したフローチャート。

【図4】本発明の電子商品券運用システムの第1実施形態の第2の実施例のシステム構成図。

【図5】図4の電子商品券運用管理サーバ100Aの構成を示したブロック図。

【図6】本発明の電子商品券運用システムの第2実施形態のシステム構成図。

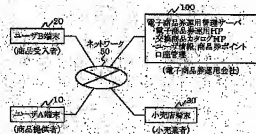
【図7】図6の電子商品券運用管理サーバ100Bの構成を示したブロック図。

【図8】本発明の電子商品券運用システムの第2実施形態の動作を示したフローチャート。

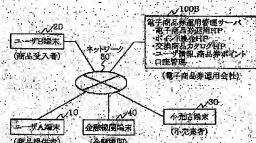
【符号の説明】

- 10 ユーザA端末
- 20 ユーザB端末
- 30 小売店端末
- 35 小売店商品カタログHP
- 40 金融機関端末
- 50 ネットワーク
- 100、100A、100B 電子商品券運用管理サーバ
- 110 電子商品券運用サービス手段
- 110A 第2の電子商品券運用サービス手段
- 111 電子商品券運用HP情報
- 120 商品への交換サービス手段
- 121 交換商品カタログHP情報
- 130、130B 電子商品券運用管理手段
- 131 データベース
- 140 換金サービス手段

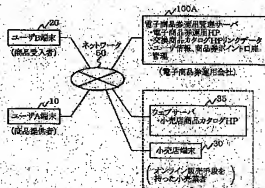
【図1】



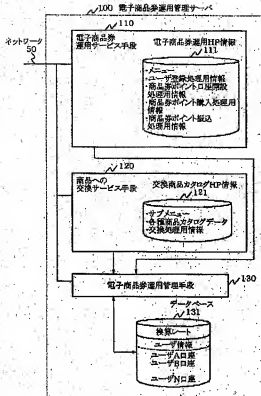
【図6】



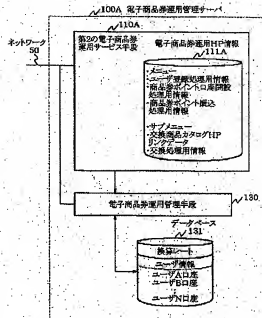
【図4】



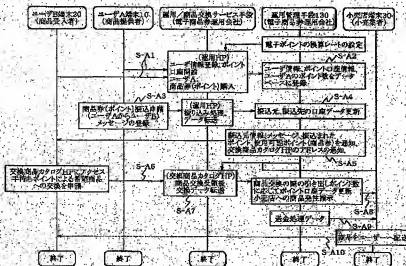
【図2】



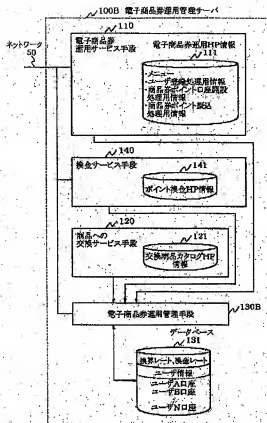
【図3】



【図3】



【図7】



【図8】

